

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 1年 11月 16日

事業所名 放課後等デイサービスりんくる真栄原

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	6			利用児童が集中して勉強等 出来るよう活動部屋と勉強 部屋を分けている。	
	2	職員の配置数は適切である	6				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている	2	4			スロープなどで段差が無いように配 慮しているが、今後利用児童に対 象児がいた場合には、トイレなども バリアフリー化を検討する。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いる	6				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	6				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	/			当事業所は初の評価となる ため。	本結果をWebサイトににて公表する予 定。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	3	3			
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	6			定期的の実技研修等の職 員研修を行っている。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	6				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している	6				
	11	活動プログラムの立案をチームで行ってい る	6			毎日のミーティングにより決 定している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫し ている	6				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	5	1		利用児童が楽しみを持って 来所できるように休日・長期 休暇の際は、おでかけ等取 り入れている。	日々の課題を2、3考えて取り組ん でいるが、きめ細やかなレベルが 不明。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成している	6				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	6			毎日ミーティングを行い共通 理解している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	6			トラブルは必ず報告し、対応 について適切か否か、他の 対応はあったかなど考えて いる。 ミーティングで報告しあつて いる。系列の事業所と定期 的に合同で会議し意見交換	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	6				
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイ サービス計画の見直しの必要性を判断して いる	6			職員間で個別会議を行っ ている。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている	4	2			ガイドラインを印刷し掲示しておく。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	4		医療的ケアが必要な子どもを受け入れた事例なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	3		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	4		移行したケースがない 今後、移行した施設から要望があった際には提供していきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	3		沖縄中部療育医療センターの研修もその中に入るのであれば受講している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	1		土曜や長期休みの時に児童センター等へ行っている
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		6		参加するのが支援に役立つのであれば参加したいが、どのように募集されているのか不明。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			何かあった時は、電話などにより状況を伝えあっている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	4		ペアトレの募集が出た際には、保護者に向けて周知している。今後も周知していく。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6			保護者会や親睦会を開き、交流する機会を設けている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	1		
	35	個人情報に十分注意している	6			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	4		個人情報の問題もあるため、関係者以外を事業所に呼ぶ事は今のところ検討していない。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	5	今後、分かりやすく周知していきたい。	周知が不十分であるため、職員に掲示場所等を伝える。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		年に2回、避難訓練を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	2		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	4		身体拘束を行った事例がない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	3		医師の指示書は拝見していないが、アレルギー対応を実施している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			